

競技注意事項

1. 規則

競技は2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。

2. 練習

- (1) 練習は、第2陸上競技場(7:30 開場)とし、安全面に十分注意して行うこと。第2陸上競技場の使用は選手のみとする。
- (2) 会場への投擲物持ち込みは禁止とする。
- (3) フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。

3. 競技場とスパイクの使用

- (1) 本競技場は全天候型である。
- (2) 使用できるスパイクのピンの長さは、走高跳12mm以下、その他は9mm以下とし、その数は11本以内とする。また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものでなければならない。（競技規則TR5.2）
- (3) シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。
トラック種目：20mm以内
フィールド種目
走高跳：20mm以内（かかと含む）
走幅跳：20mm以内（ただし前部が踵部より厚くなってはならない）
砲丸投、円盤投：20mm以内

4. 招集

- (1) 一次招集所は、スタンド下雨天走路内スタート側に設置する。二次招集は、トラック競技はスタート地点、フィールド競技はピットで行う。
- (2) 招集に遅れたものは棄権とみなし出場を許さない。競技を棄権する選手は棄権届をTICで受け取り、必要事項を記入の上競技開始1時間前までにTICへ提出すること。
- (3) 選手は、一次招集所でアスリートビブスの確認を受けること。
- (4) 一次招集及び二次招集完了時刻は下記の通りとする。

種目	一次招集	二次招集
トラック種目	競技開始30分前～15分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始60分前～45分前	競技開始30分前

- (5) トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカード（レーンナンバーカード）を受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）競技終了後、腰ナンバーカードを外し、ゴール付近のかごに入れること。
- (6) 混成競技について
1種目め、3種目めは、招集所で点呼を受ける。招集時刻は、4.招集（4）に準ずる。
2種目め（フィールド種目）は競技開始30分前まで、4種目め（トラック種目）は競技開始15分前までに混成競技者招集所で点呼を受けること。

5. 入退場

- (1) 入場についてはマーシャルの指示・誘導に従う。
- (2) トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係に返却する。スタート付近に戻り、荷物を持って待機場所へ戻ること。
- (3) フィールド競技は、競技終了後に荷物をを持って待機場所へ戻ること。

6. アスリートビブス

- (1) 千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定（2025年度発行）のJAAF登録されたアスリートビブスを使用する。
- (2) アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、跳躍種目は1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走路順

トラック競技の予選の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示し、決勝の組・走路順は本部で抽選し、アナウンス及び速報サイトにて掲載する。

8. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、競技開始15分前までに当該審判に自分の希望する支柱の位置を申告すること。もしも競技者がその位置を変更したいときは直ちに当該審判員に申告すること。

9. 3000mのスタート方法、給水について

3000mにおいてグルーブスタートを採用する場合のスタート方法は、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする〔TR17.5.2〕。なお、その際スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。また、気象条件によっては給水を行う。

10. オープンレーンについて

男女800m競走はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱（もしくは代用縁石）を置く。〔TR17.5.1〕

11. リレー競技について（リレーオーダー用紙はTICに準備）

- (1) リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙に必要事項を記入し、一次招集完了時刻の60分前までにTICに提出のこと。ラウンド毎に提出すること。
- (2) リレー競技においてチームの出場者は、デザイン、配色が同一であれば選手によりユニフォームのタイプを選択することは問題ないとする。また、異なるメーカーのユニフォームを着用することも問題ないとする。〔TR5.1〕
- (3) リレーのマーカの使用は1カ所とする。〔TR24.4〕

12. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	
共通 男子走高跳	1m55・70	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	以降 3 cm ずつ
共通 女子走高跳	1m35・48	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	
共通 男子棒高跳	3m00・50・4m00	3m00	3m20	3m30	3m40	3m50	以降 10cm ずつ
共通 女子棒高跳	2m20・50・3m00	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	
男子 四種走高跳	1m32 1m41	1m35 1m44	1m38 1m47	1m41 1m50	1m44 1m53	1m47 1m56	以降 3 cm ずつ
女子 四種走高跳	1m17 1m26	1m20 1m29	1m23 1m32	1m26 1m35	1m29 1m38	1m32 1m41	

- (2) 第1位に関わる競技者が同成績の場合は、ジャンプオフ（第1位決定戦）のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。〔TR26.9.4〕
- (3) 関東大会に関わる競技者が同成績の場合は、ジャンプオフ（関東大会出場者決定戦）のためのバーの上げ下げの範囲は走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。〔TR26.9.4〕
- (4) 四種競技の走高跳の高さは、上表の2段階に設定する。事前に申告された高さを基に、主催者側でピットを分けて実施する。天候その他の条件によって上記の高さを変更する場合は、当該審判員が決定する。

13. 番組編成

1000mから8000mまで、また4×1000mRで決勝の番組編成は、上位1～4位の4名、または4チームを中央の3～6レーンに、5、6位が7、8レーン、下位2名または2チームを1、2レーンにアトラダムに割り当てて決定する。

14. 計時・競技の抽選

- (1) 競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。
- (2) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たときは下記の方法で競技を行う。
- ア、4000m以下の競走競技、障害走、リレーにおいては、1000分の1秒以上の比較をし着差の判定をする。それでも判定できない場合は、競技者又は代理人によって抽選をして決定する。
- イ、8000mにおいては、アと同様に比較し、それでも判定できない場合は、次のラウンドに進める。（レーン内に2名の競技者が走る）

15. 不正スタートについて

不正スタートした競技者はすべて失格とする。ただし、混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、全て失格とする。2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則第TR16.5の適用はしない。

16. フィールド競技について

- (1) 走幅跳、砲丸投、円盤投は3回の試技とする。記録上位8名がトップ8へ進出し、さらに3回の試技を認める。
- (2) コーティングエリアを4か所設置する。（メインスタンド1か所・両サイドスタンド1か所ずつ・バックスタンド1か所）
- (3) 録画再生機器や録画映像は、録画映像を提供する者の近くの位置であれば競技区域内に持ち込むことが認められる。その際、競技者は提供する者とコミュニケーションをとりながら、録画再生機器を手にしてもよい（TR6.4.5）。ただし、走幅跳については安全面を考慮し適用しない。

17. 用具

- (1) 棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは本部の公式計測員（技術総務）の検査を受けてから使用する。

18. 抗議

発表された結果に対する抗議は、正式発表後（全てのラウンドにおいて15分以内、ただし翌日に上位ラウンドがある競技は30分以内）に監督がTICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機する。さらに、この裁定に不満の場合は預託金10,000円を添えて、担当総務員（ジュリー）に文書で申し出る。

19. 表彰

表彰は正面玄関前で行う。8位入賞者はアナウンスの結果やWEBの大会速報を見て陸上競技場1階ホールへ集合すること。服装についてはチームウェア（Tシャツ、ジャージなど）を着用すること。

20. 商標について

- (1) 競技場内に商標名のついた衣類やバック等を持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を厳守すること。これに違反した場合は、主催者で処置する。
- (2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従うこと。

21. その他

- (1) 記録の発表は、アナウンス及びWEBの大会速報のみとする。記録の掲示はしない。
- (2) 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難に注意する。
- (3) ゴミについては必ず持ち帰ること。競技場、駅、バス停などに絶対に捨てないこと。
- (4) 選手の控え場所としては、陸上競技場コンコース、芝生スタンド、競技場周辺を可とするが、通路等をふさがないように設置する。周辺の木やフェンス、掲揚ポール等にロープは固定しない。
- (5) 競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者で行うが、以降の責任は負わない。また、体調が悪くなった選手は医務員の指示に従うこと。

- (6) レースを棄権する競技者は棄権届をT I Cで受け取り、必要事項を記入の上、競技1時間前までにT I Cへ提出すること。
- (7) アスリートビブス忘れについては出場種目の招集開始60分前までに、選手と申し込み責任者等がT I Cで手続きをすること。